

(寄稿)

ヘルスケア・マネジメント研究の潮流

～「ヘルスケア市場の競争戦略」及び

「トヨタ生産方式で医療ミスは劇的に減らせる」を読み込む～

現在、多くの自治体病院は赤字に苦しんでいます。しかし、そこには「自治体病院として担うべき機能」と同時に、市場競争の中で生き残らなければ、存在意義が問われるというジレンマがあります。このような、複雑なバランス感覚の中で、舵取りを行わなければならないというのが自治体病院の置かれている現状ではないでしょうか。そして、その中でのマネジメントと説明責任を果たすのは容易な事ではないと思われます。

今回のヘルスケアノートは、新たな趣向として、「ヘルスケア・マネジメント研究の潮流」として、興味深い論文2稿の書評を日本福祉大学 福祉経営学部 教授小木紀親氏に寄稿いただきました。日頃忙しく、時間のない皆様方にとって、端的に論点が整理されており、大変参考になるものと思います。

この第一稿目の「ヘルスケア市場の競争戦略」(M.E.ポーター & E.O.タイスバーク著、2004年)では、「歪んだ競争が、質の低下とコストの上昇をもたらしている」と分析し「医療分野にも健全な競争原理を導入すれば、質の高い医療サービスを低価格で享受できるようになる」と主張されており、この中にも、現在の自治体病院のあり方を考察するヒントが隠されているかもしれません。

本レポートと寄稿の骨子

1. はじめに
～問われる自治体病院の存在意義～
2. (寄稿) ヘルスケア・マネジメント研究の潮流 ①
～「ヘルスケア市場の競争戦略」及び
「トヨタ生産方式で医療ミスは劇的に減らせる」を読み込む～
 - 1) はじめに
 - 2) 「ヘルスケア市場の競争戦略」
 - 3) 「トヨタ生産方式で医療ミスは劇的に減らせる」

2007年10月19日

Healthcare note
(No.07-29)野村ヘルスケア・
サポート&アドバイザー市川 剛志
(編集主幹)

寄稿者名：

日本福祉大学
福祉経営学部
教授 小木 紀親